

事業所名:くつろぎの家エルフ・みと

作成日:平成 23年 5月 10日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	40	医師の指示により、ミキサー食を提供している利用者が数名いるが、食事の楽しみという点で、もう少し工夫できるのではないかな。	献立内容が一目で分かるような楽しい食事を提供し、食べることへの意欲を引き出したい。	現在、外部業者によるクックチルドを利用しているので、業者との意見交換や提案を重ねてソフト食、プリン食などの提供に結び付けていく。	6ヶ月
2	4	運営推進会議は概ね2ヶ月に1回開催しているが、その場で出た意見の記録が詳細では無いと指摘があった。	個々のメモ書き程度であったものを、きちんとした記録として残していき、ご家族やスタッフとも共有し、より良いサービスにつなげていきたい。	運営推進会議を行った記録として最初に配布するレジュメをファイルしていたが、会議で出た意見や今後の取り組みなどを書き加えた議事録も同様にファイリングしていく。また、議事録の公表も検討する。	2ヶ月
3	2	地域性やご家族の意向などがあり、事業所全体と地域との大きな関わりというのが難しい。	まずは個人と地域との結びつきを大切にし、ホームとしても地域に根ざしていけるようアプローチを継続していきたい。	入居前からの個人と地域の関係が継続できるよう支援し、季節を感じられるような地域の行事への参加を通して事業所を周知していただき、何かあればお互いが助け合えるような関係を築いていく。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。